2026 年 10 月 14 日
株式会社みらいワークス
（証券コード：6563）

3年連続、奈良県生駒市とオープンイノベーションを推進
～令和8年度「いこま産学官アクセラレーションプログラム」実施業務を受託
アクセラレーションプログラムに参加する三つの研究シーズが決定～

株式会社みらいワークス（本社：東京都港区、代表取締役社長 岡本祥治、以下「当社」）は、奈良県生駒市（市長：小紫 雅史）より、「いこま産学官アクセラレーションプログラム（I-SAP）」実施業務（以下「本業務」）を 3 年連続で受託したこと、ならびに本年度のアクセラレーションプログラムに参加する 3 件の研究シーズが決定したことをお知らせいたします。昨年度に続き、アクセラレーションプログラム（*1）の共同運営を行い、本業務に参加する研究シーズにおける事業化支援やスタートアップの創出、生駒市の地域課題解決を図る施策への足掛かりとなるための活動を推進してまいります。

■ 背景：大学発スタートアップの事業化とエコシステム構築に向けて

全国の自治体では、地域活性化や産業の競争力強化に向けた「大学発スタートアップ」の創出が強く期待されています。しかし、多くの大学現場においては、優れた研究シーズが存在するものの、社会実装や事業化を牽引する経営人材やノウハウの不足が課題となっています。生駒市は、市内に立地する国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下、「奈良先端大」）の研究者・学生が有する研究シーズを事業化し、地域課題の解決や新たな価値創造につなげる施策の一環として「いこま産学官アクセラレーションプログラム」を実施しています。

当社は、スタートアップ支援プラットフォーム『Booster』（https://mirai-works.co.jp/booster/）の運営をはじめ、約 98,000 名のプロフェッショナル人材データベースやノウハウを活用し、自治体におけるスタートアップの発掘・育成支援を行っています。これまでにも仙台市の「TGA～DeepTech～」や青森市の「青森アクセラレータープログラム」など、地域に根ざしたテーラーメイドの伴走型支援を通じて、事業成長と地域のオープンイノベーション推進に貢献してまいりました。

昨年度は 4 名の採択者を選出し、それぞれの課題に適したプロフェッショナル人材がメンターとして伴走支援をすることで、起業や実証実験など事業化を推進しました。本年度は、「社会的・経済的価値の持続的循環」をテーマとし、プロフェッショナル人材とともに、各採択者の目標達成や事業化を推進し、生駒市の地域活性化に貢献してまいります。

■ 令和 8 年度「いこま産学官アクセラレーションプログラム」採択者概要

採択者は、今後、約 6 カ月間のメンタリングなどの個別支援を受け、2027 年 2 月に開催予定の成果発表会にご参加いただきます。

- **松田 泰斗 氏**

【細胞運命転換による神経再生・神経疾患治療技術の開発】

脳内に存在する細胞を機能的なニューロンへ直接リプログラミングし、失われた神経細胞をその場で再生する技術。細胞移植を必要とせず、患者自身の脳内細胞を再生資源として利用できる点が特徴。脳梗塞やパーキンソン病など、根本的な神経再生治療が確立されていない疾患を対象に、遺伝子治療製品としての実用化を目指す。

- **加藤 順也 氏**

【バイオの力を用いた新しいナノ粒子製造法と抗がん剤への応用】

水に溶けにくく薬にすることが難しかった候補化合物を、体内で効率よく届けられるナノ粒子に変える新しい技術。この技術を抗がん剤候補化合物に応用し、効果を高めながら副作用を抑えたプロドラッグの開発に成功。患者の負担が少ない安全で効果的ながん治療の実現や、他の薬・サプリメントへの幅広い応用を目指す。

- **澤邊 太志 氏**

【VR 技術による臨場感観光体験システム】

360 度映像と専用 VR ゴーグルを組み合わせ、従来の平面映像やパノラマ動画を大きく上回る高没入感な観光体験を提供するシステム。効率的な映像データ処理・伝送技術やインタラクティブな体験設計を取り入れることで、現地の雰囲気や立体的な臨場感をリアルに再現する。生駒市をはじめとする自治体や地域事業者が、限られたリソースでも地域の歴史・文化・自然の魅力を全国・世界へ効果的に発信できる、持続可能なデジタル観光・まちづくりモデルの構築を目指す。

■ 昨年度採択者の支援実績

- 秋吉 拓斗 氏

【ROBOZOO～心を育む生命感ロボット動物園～】

起業の基礎に関するメンタリングや SNS・プロモーション戦略の策定に加え、生駒市内 3 カ所での実証および PR 機会の創出を支援しました。キャンパスベンチャーグランプリ

（CVG）にて文部科学大臣賞テクノロジー大賞を受賞し、2026 年 3 月に「株式会社ROBOZOO」を設立し起業を果たしました。

● 鈴木 健大 氏

【呼気センシングを活用した次世代ヘルスナビゲーションシステムの開発】

ビジネスモデルおよび事業計画の作成を支援したほか、呼気データの継続的な取得手法の構築や、事業化に向けたマイルストーンの設定を実施しました。

● 橋本 由介 氏

【3 次元原子配列とイオン化状態を高精度に測定できる分析装置の開発】

起業の基礎に関するメンタリングを実施し、事業に必要な部品製作工場の紹介や経理サービスの紹介など、具体的なビジネス体制構築に向けた支援を行いました。

● 高木 博史 氏

【酵母の育種技術を活用した発酵イノベーション～オリジナル「パン酵母」の開発～】

ハイビスカス酵母の親株と子株を使用したオリジナルパンの開発において、生駒市内ベーカリー（西山荘）との共同実証実験を支援しました。また、市場のトレンドやニーズに基づくビジネスアドバイスを実施しました。

■ 「いこま産学官アクセラレーションプログラム」スケジュール概要

キックオフミーティング	2026年10月2日（金）
成果報告会	2027年2月（予定）
プログラム終了	2027年3月31日（水）

■ 特設サイト

URL：https://ikomacity-naist-accelerator.jp/

■ 問い合わせ先

「いこま産学官アクセラレーションプログラム」事務局
株式会社みらいワークス
担当：江上・宗像
E-mail：i-sap@mirai-works.co.jp
TEL：03-5860-1835

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微です。

*1　アクセラレーションプログラムとは：大手企業や自治体等がスタートアップ企業に対して出資や支援を行う事により、事業共創を目指すための取り組み。

当社の関連プレスリリース

2025年度　https://mirai-works.co.jp/news/news14489/

2024年度　https://mirai-works.co.jp/news/news12537/

≪株式会社みらいワークス　概要≫

所在地	東京本社：東京都港区 その他事業所：関西支社／九州支社／東北支社
代表者	代表取締役社長　岡本祥治
設立	2012年3月
証券コード	6563（東証グロース）
資本金	94,910千円（2026年6月30日時点）
ＵＲＬ	https://www.mirai-works.co.jp/
事業内容	• プロフェッショナル人材事業 フリーランス・業務委託／副業・業務委託／正社員 登録プロフェッショナル98,500名、クライアント10,000社（2026年9月30日時点） • コンサルティング事業 • 実践型リスキリング事業 • オープンイノベーション事業 • 地方創生事業 • ソーシャルデザイン事業 https://mirai-works.co.jp/service/
子会社	Greenroom株式会社 https://greenroom.eco/

【本件リリースに関するお問い合わせ先】
株式会社みらいワークス　IR担当
電話：03-5860-1835
e-mail：ir@mirai-works.co.jp